

|| 地域おこし協力隊 活動報告 ||

たかお新聞

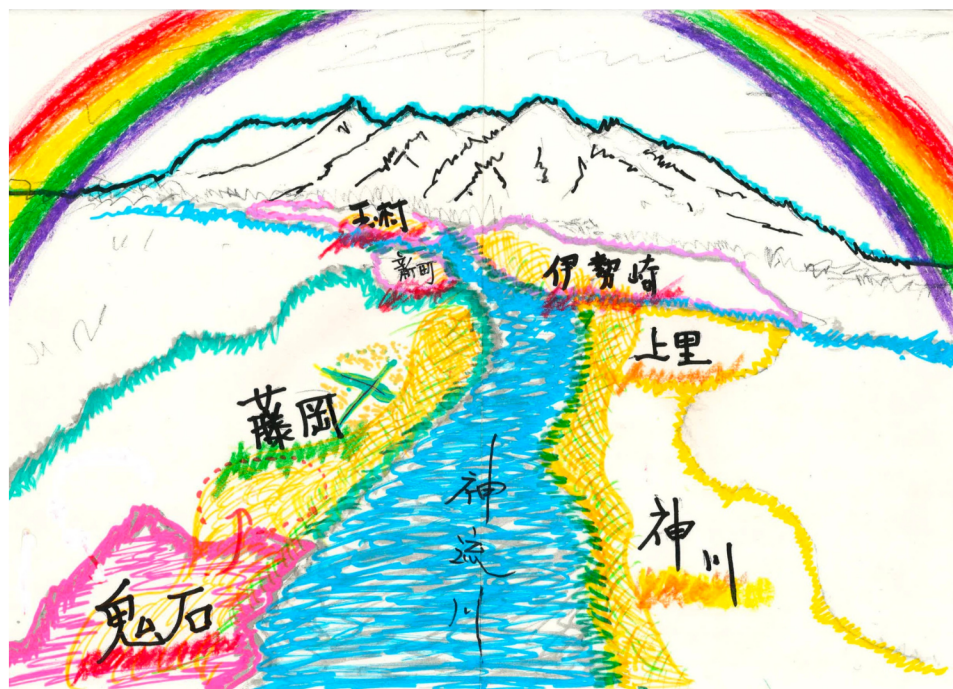
10月号

2025.10.31

[制作]

鬼石総合支所
地域おこし
協力隊

不毛の地に恵みを生む
運命のほし農eN計画を実施します。



ほし農eN八策

＝不毛の地に恵をもたらすエンジョイ農園の浸透＝

利用者向け
サービス

地産地消イベント運営
(野菜マルシェ・特産品開発など)

自然栽培支援
(苗ちゃんファーマー等)

シェア畑

ほし農eNの宿
(ベースド・ツーリズム)

休耕地
調査

畑の復活

放置農具
リサイクル

耕作地の
維持管理

所有者向け
サービス

群馬と埼玉の境を流れる神流川のほとりにて、食とエネルギーを自らの手で創り出す、新しい暮らしの姿を描いて。自然の力を信じ、土の声に耳を傾け、時代の風を感じて、人と人、地域と自然、熱き心が「eN(縁)」でつながる場を作りたい。種をまき、育て、分かち合い、そして笑い合う。一度きりの人生を、みんなでenjoyしながら、「恵みの星(ほし)」目指していく。そんな世界を鬼石を起点に広げていきたいと思っています。

【編集担当】 星野 貴男



菌ちゃん、丸太で大きく育てね!

3

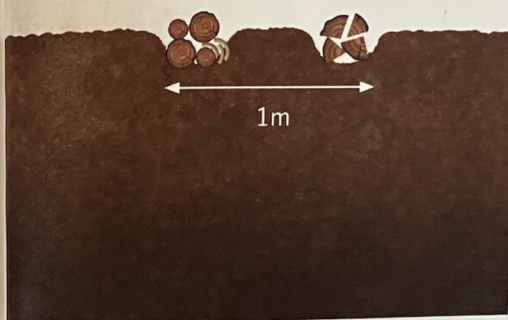
畝の形を台形に整える。できるだけ畝の側面を急にして畝幅を広げる。最初に仕込んだ有機物は、溝底より高い位置にあるので雨で水浸しになりにくく、側面から空気が通りやすくなっており、糸状菌が伸長しやすい。



丸太埋め込み10年無肥料畝

1

1m幅の内側に浅く2列の溝を掘り、丸太や長い枝など大きな有機物を入れていく。表面が少しポロポロになっているものがよい。使い終わった椎茸のほだ木もOK。タケの場合は切りたてでもよいが、あらかじめ割ってから入れる。



4

有機物を畝にのせて広げる。最初に入れた2列の大きな有機物から伸びる糸状菌の働きが活発になるまでスターターとなる。のせる有機物についてはP36~37を参照。これ以降のプロセスは、P52~P59を参照。



2

溝から土を掘り上げ、2列の有機物が隠れてしまう高い山をつくる。溝を深く掘ったとき、雨水が出て行く低い場所がない場合は、あらかじめ溝幅をより広く取り、土の掘りが浅くても高い山がつくれるようにする。近くに雨水がたまる大きな穴を掘ってもよい。ある程度土が湿っていないと高い山がつくりにくいので、乾きすぎている場合は水をかける。



星野貴男は、
菌ちゃん農法を
延伸していきます。

微生物の力だけで奇跡の野菜づくり

図解でよくわかる

菌ちゃん農法



菌ちゃん先生こと

吉田俊道



農薬なし、防虫ネットなしでも虫がつかない!

家の光協会